

令和2年度第5回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和2年10月6日（火）13：30～14：20 教授会室

出席者： 廣川理事長（議長）、青木副理事長、倉茂理事、山根理事、高橋理事、村上環境科学部長、南川工学部長、宮本人間文化学部長、伊丹人間看護学部長、伴教授、岸根教授、市川教授、甘佐教授、八里事務局次長、澤委員、矢吹委員

欠席者： 笹田委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、小椋経営企画課長、武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長、塚本参事、杉田課長補佐、堀江主査

令和2年度第4回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、一部文言を修正の上、承認された。

議 題

報告事項

- 1 滋賀県公立大学法人評価委員会の結果および令和元事業年度における業務の実績に関する評価結果について
山根研究・評価担当理事より、資料に基づき報告があった。
- 2 新型コロナウイルス感染症にかかる危機対策本部本部員会議について
青木副理事長より、資料に基づき報告があった。
- 3 学生の退学・休学・復学・除籍について
倉茂教育・学生支援担当理事より、資料に基づき報告があった。
- 4 令和2年度卒業・修了予定者の進路状況等について
武田学生・就職支援課長より、資料に基づき報告があった。
- 5 令和2年度「近江楽座」採択プロジェクトについて
土淵地域連携・研究支援課長より、資料に基づき報告があった。
- 6 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 第11回教教分離推進チーム会議
 - (2) 令和2年度第1回コンプライアンス委員会
 - (3) 第29回理事長選考会議
 - (4) 令和2年度第6回衛生委員会
 - (5) 令和2年度第1回学生支援委員会
 - (6) 令和2年度第6回入学試験委員会
 - (7) 令和2年度第5回国際交流委員会（書面開催）
 - (8) 令和2年度第2回動物実験委員会
 - (9) 令和2年度第2回遺伝子組換え実験安全委員会

その他

[主な意見・質疑等]

<教教分離推進チーム会議関係>

- ・「研究院長について、学部長と別の者を選任すること」とあるが、このように決定され

た経緯を伺いたい。

→これまでの案では、同じ者が兼任してもよいとなっていたが、研究院は人事管理、学部は教育・研究と役割が違うため、分けたほうがよいとなった。一人がやるとなると、業務量が多くなったり混乱が生じたりする恐れがある。選出の方法はこれからの議論となる。

・今までは一人の人がやっていた業務だが、分ける狙いは何か。重なる部分が出てくるのではないか。

→業務の重なりがないよう、切り分けを明確にしていく。

・学部の教員から同じような質問が出ると思うので、もう少し明確な回答が欲しい。

→例えば教員人事について、これまでは学部で選考していたが、教教分離後は学部からの申請により、法人組織である研究院で選考する。この場合、長が同じ人では問題がある。

・規模の大きな大学であれば教教分離のメリットは大きいと思うが、本学のような小さな大学では委員会業務等が増えないかという懸念がある。

→委員会の整理統合や、委員の選出母体の明確化により、業務が増えることのないようにと考えている。

・法人組織である研究院の長は、どういう位置付けになるのか。

→どのように位置づけていくかというのはこれからの議論になる。

・人事組織の長であるとともに、将来構想を担うような位置付けであるべきだと思う。

<卒業・修了予定者の進路状況関係>

・工学部では、例年に比べて就職状況がよくないと感じているが、環境科学部などでは昨年同時点よりも改善している。これは進路決定届の回収率が上がったからなのか。

→その影響も大きいと思う。ただ、今年度はコロナの影響がどのようになるかなども注視していく必要がある。